

栗原地域だより

第2号
平成24年7月2日発行

目次

- 南くりこま高原一迫ゆり園開園～色とりどりの花がお出迎え～ P.1
- 金成延年閣がリニューアルオープン！ P.2
- くりはらの「自慢の食品」を全国にお届け！ P.2
- 栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会を開催します P.3
- 消費生活パネル展を開催しています P.3
- 出前講座「田んぼ学校」を通して生き物調査を応援します P.4
～田んぼは生き物たちの貴重な住み家～
- 平成25年度仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けて P.4
～市民の温かい気持ちで「おもてなし」を～
- 生きている牛を検査し、牛肉の安全・安心を届けています。 P.5
～全国初の簡易な生体測定法ができました～
- 栗原市内の田植えは、順調に終わりました P.6
～新しい品種や技術が導入されています～
- 栗駒ダムでダム管理演習を実施しました！～洪水の発生に備えて～ P.6
- ツキノワグマが非常に多く出没しています！！ 注意してください P.7
- 栗原市内の農林産物の放射性セシウム濃度を検査しています P.8

山王史跡公園あやめ祭り



7月9日(月)まで開催！

南くりこま高原一迫ゆり園開園

～色とりどりの花がお出迎え～

地方振興部

7月、南くりこま高原一迫ゆり園のユリが見ごろを迎えます。約3万平方メートルという広大な園内には早咲き・遅咲きのユリ約200品種が植えられ、期間中何回訪れても楽しめます。今年初登場となる、2種類のユリで描かれた巨大な「絆」の花文字は必見です。さらに、全国300のユリ球根オーナーが復興への想いを託した「一迫ゆり園復興球根オーナー園」では、咲き誇るユリから力強い「絆」を感じることができます。



「絆」の花文字

また、ゆり園の会場では、道の駅「自然薯の館」と「温湯山荘」の利用割引券がもらえます。「自然薯の館」・「温湯山荘」ではゆり園の入園割引券がもらえますので、どこからまわってもお得です。花の盛りを迎えた栗原をゆっくりとお楽しみください。

■開園日時 6月23日(土)～7月31日(火) 午前8時30分～午後5時

—昨年の様子

■入園料金

通常…大人650円、小～高校生300円

団体(20名～)…大人520円、小～高校生240円

■問い合わせ先

・南くりこま高原一迫ゆり園 TEL:0228-52-4551

■南くりこま高原一迫ゆり園 HP <http://www.ichihhasama-yurien.com>



金成延年閣がリニューアルオープンしました！

地方振興部

温泉施設「金成延年閣」が、6月30日(土)から営業を再開しました。東日本大震災の影響で営業を休止し、昨年8月までは避難所として使用されていましたが、このたび改修工事が終了し、約1年4カ月ぶりの営業再開となります。温泉施設のほか、食堂、宴会場、無料で利用できる大休憩室もあり、どなたでもゆっくりとくつろぐことができます。

6月30日(土)には、リニューアルオープンセレモニーが行われました。セレモニーでは、栗原市長、栗原市議会議長の祝辞のほか、関係者によるテープカットで再開を祝福しました。当日は再開を待ち望んでいた多くの市民の方々が訪れ、久しぶりの延年閣の湯を満喫されているようでした。

皆さまも、生まれ変わった金成延年閣で、のんびりと温泉につかって疲れを癒しませんか？



■問合わせ先

金成温泉金成延年閣 TEL：0228-42-1121

金成温泉金成延年閣 HP <http://www.ennenkaku.jp/index.html>

くりはらの「自慢の食品」を全国にお届け！

地方振興部

栗原市内の生産者や加工業者が集まって、魅力ある食品を発掘・発信する「くりはらさんプロジェクト」がスタートしました。

栗原市の合併以降、地域間の交流が増え、地元の枝豆を使ったずんだジャムや14種のハーブを与えて健康に育てた漢方和牛の加工品など、生産者と加工業者が連携した新商品の開発が数多く生まれています。これら魅力ある栗原自慢の商品を全国に発信していく取組が「くりはらさんプロジェクト」です。商品は、インターネットやFAXでの通信販売のほか、直売館よさこい内でも注文することができます。

■問合わせ先 くりはらさんプロジェクト事務局

(宮城産直流通よさこい有限責任事業組合内)

TEL：0228-25-4061 FAX：0228-25-4062

Mail：iip-y@yosakoi-b.co.jp

URL：<http://www.kuriharasan.com/>

くりはらさん

検索



栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会を開催します

林業振興部

栗原市のきのこ生産量の県内シェア（平成22年）は、生しいだけで52%、なめこで73%を占めています。二度にわたる大震災で菌床栽培施設が大きな被害を受けましたが、現在、安全・安心な菌床栽培のきのこの価値が見直されています。このことから、栗原のきのこを大いにPRするため、「栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会」と題して、復旧した菌床シイタケ施設の見学と収穫体験、併せて岩手・宮城内陸地震で崩壊した栗原市栗駒地内（冷沢）の復旧状況の見学、「世界谷地」での植物観察を開催いたします。栗原合同庁舎のほか、仙台駅からもバスが出ますので、仙台周辺のお知り合いの方も誘ってぜひご参加ください。

〈日時〉 7月21日（土）午前8時～午後6時

〈対象〉 一般40人（先着順）

〈参加費〉 1,000円（栗駒耕英での昼食代）

〈集合〉 仙台駅西口貸切りバス駐車場（午前8時）又は県栗原合同庁舎（午前9時20分）

〈申込〉 7月6日（金）まで電話か、住所・氏名・年齢・電話番号を記入したはがき又はFAXで下記へ
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 林業振興部

TEL：0228-22-2381 FAX：0228-22-5795



消費生活パネル展を開催しています

総務部

県民サービスセンターでは、毎月最終週に県栗原合同庁舎1階ロビーにて消費生活パネル展を開催しています。みなさんが消費者トラブルに遭わないように、毎月テーマを変えて消費者トラブルやその対処法を紹介するパネルを数枚ずつ展示しています。

4月は「インターネットトラブルと最近の消費者トラブル」をテーマにオンラインゲームでの高額請求や出会い系サイトトラブル、5月は「震災に乗じたトラブル」をテーマに義援金詐欺や震災に便乗した悪質商法、6月は「金融商品トラブル」をテーマに社債や未公開株の購入トラブルなどを紹介しました。

7月は23日（月）から27日（金）まで「くらしの危険」をテーマに開催する予定です。ぜひご覧ください。



パネル展の様子

■問い合わせ先 県民サービスセンター消費生活相談窓口 TEL：0228-23-5700

出前講座「田んぼ学校」を通して生き物調査を応援します
～田んぼは生き物たちの貴重な住み家～

農業農村整備部

農業農村整備部では、農業農村のもつ多面的な役割を学ぶとともに、子どもたちの環境に対する感性を育む活動として、出前講座「田んぼの学校」を開講しています。生き物調査などの協力要請があれば、知識・経験豊かなスタッフがお手伝いします。



オニヤンマの
ヤゴを捕まえ
たよ！

6月16日には、JA 栗っこ主催の「JA 栗っこめぐりスクール」にあわせて「生き物調査」も開催されたことから、出前講座の「田んぼの学校」の一環として調査の補助や解説を行いました。



事務所職員による解説

当日は、栗原市内の児童約50名を含む約70名の参加がありました。若柳三田鳥地区の田んぼや付近の水路で、子どもたちは元気に駆け回り、メダカやドジョウ、ヤゴ等の田んぼに生息する生き物の探索を楽しみました。その後、捕まえた生き物の解説を行いました。子どもたちの知識に「さすがは栗原の子どもたち」と感心させられる場面も多くなりました。雨が多少降ってはいましたが、子どもたちはスクールの非常に楽しめたようでした。



生き物調査の様子

■問い合わせ先 農業農村整備部 環境配慮推進グループ
TEL：0228-22-2402

平成25年度仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けて
～市民の温かい気持ちで「おもてなし」を～

地方振興部

平成25年4月から6月に仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（地方自治体、地元観光業者とJRグループとが連携して行う観光キャンペーン）が開催されます。

この仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けて、宮城県各地の観光を積極的に全国の旅行業者にPRする全国販売促進会議が、5月28日にホテルメトロポリタン仙台で開催されました。栗原市では観光PRコーナーで6種類の地酒を、県内の食材や特産品を堪能してもらうレセプションでは、「そばだんご」「しんこもち」「パプリカ」を提供し、大変喜んでいただきました。



栗原市の地酒コーナー

また、5月29日、30日に行われたエクスカーション(体験型の見学会)では、26名の旅行業者の方々に細倉マインパークの見学、そね観光いちご園(志波姫)でのイチゴ摘み取り体験をしていただきました。栗原市を印象づけるため、佐藤市長をはじめ関係職員の皆様の笑顔の出迎えがあり、歓迎ムードが大いに盛り上がりました。参加者からは「栗原市の熱意が感じられる!」と大変好評でした。

ちょっとした笑顔や気遣いが本当の「おもてなし」です。お金では価値を計ることができません。栗原市民の温かい気持ちが伝わる「おもてなし」を今後も観光の売りの一つとしていければ、と思います。



■問い合わせ先 地方振興部商工・振興班

TEL：0228-22-2195

生きている牛を検査し、牛肉の安全・安心を届けています。

～全国初の簡易な生体測定法ができました～

畜産振興部

いったん放射性物質の基準値を超えた牛が見つかったら、消費者の方々等の信頼を回復することは容易ではありませんが、これまでの牛肉の検査は、と畜後の1回だけで、十分とはいえませんでした。

このため、県の畜産試験場が中心となり、①と畜前に携帯可能な放射線測定器で牛の筋肉を測定した数値と、②と畜後にゲルマニウム半導体測定器で測定した数値を調べた結果、と畜前の検査で放射性セシウム濃度を高い精度で導き出せることがわかりました。

これにより、生きている牛の放射性セシウム濃度を推測できるようになり、と畜後に基準値超えが見つかることを防ぐことが可能となりました。また、生きている牛から高い数値が出た場合でも、放射性物質が体外に排出されるまでの一定期間飼育し直すことも可能となりました。



4月以降、現在(6月15日)まで、栗原市から出荷された廃用牛(繁殖適期を過ぎた牛)は112頭ですが、基準値超えは1頭も確認されていません。

皆さまには、安全・安心な牛肉をたくさん食べていただければと思います。

■問い合わせ先 畜産振興部畜産振興班 TEL：0228-22-2487

栗原市内の田植えは、順調に終わりました

～新しい品種や技術が導入されています～

農業振興部

栗原市内の田植えは、最盛期が5月16日で、県全体に比べ4日ほど遅く、晩期栽培への意識の高まりが反映されていると考えられます。また、6月19日現在の水稻の生育状況は、田植え後は活着が良く、6月上旬までは高温多照で生育がやや進んだものの、6月中旬の低温少照でやや停滞しています。

品種は「ひとめぼれ」が約90%と偏りがあり、危険分散と実需者の要望に応えるため、多様な品種の作付けが必要とされてきています。そこで、JA栗っこが中心となり新たな品種として、平坦地では「つや姫」、「^も萌えみのり」の作付けを拡大するとともに、中山間地では「やまのしずく」等への誘導を図っています。

一方で、省力・低コスト、作期分散等のため、水稻の直播の取組が拡大しています。これまでのカルパーコーティング（過酸化カルシウムを含む酸素供給剤を催芽剤に粉衣）にかわり、鉄コーティング（還元鉄を浸種剤に粉衣）の湛水直播が増えています。また、畑地状態で播種する乾田直播への取組も始まっています。



■問い合わせ先 農業振興部先進技術班 TEL：0228-22-9437

栗駒ダムでダム管理演習を実施しました！

～洪水の発生に備えて～

栗駒ダム管理事務所

栗駒ダムは、農業用水、洪水調節、発電、鉍毒防止を目的に昭和37年に完成し、管理は当事務所の栗駒ダム管理事務所が行っています。

平成24年5月15日、全国一斉に実施される洪水対応演習の一環として、洪水を想定したダム管理演習を実施しました。今年は、国土交通省、県農林水産部、県土木部、栗原市等13の関係機関との迅速な情報伝達の演習、ダムからの放流の無線による警報活動、河川水位や警報所の状況確認のためのパトロール等、出水時における対応の実務を確認しました。当日は、栗駒ダム管理事務所職員4名のほかに当事務所の農業農村整備部からの応援職員4名も参加し、洪水調節が長時間にわたる場合の交代要員を含めた演習を行いました。



5月2日から4日にかけての大雨の際にも、日頃からの演習の成果で適切に洪水調節を行うことができました。

栗駒ダムでは7月1日から9月30日までは洪水期のダム操作として、洪水吐ゲートを一定開度（50cm）に設定します。大雨が続くような場合は、河川の増水に注意してください。



■問い合わせ先 栗駒ダム管理事務所 TEL：0228-45-1306

ツキノワグマが非常に多く出没しています！！ 注意してください

林業振興部

ツキノワグマの出没件数は、6月13日現在で、栗原市内では既に64件（昨年は1年間で77件）となり、県内全体でも169件（昨年は1年間で262件）と例年にないほど多くなっています。

また、クマの行動は、これから収穫期に入るトウモロコシ、秋はカキ・クリの実などの食料を求めてクマの行動が活発になります。これまで以上に出没が多い時期を迎えることから、同じく非常に多く出没した一昨年の187件（栗原市内）を大幅に上回ることが予想されています。

クマによる人や農作物への被害を避けるためには、クマを集落や農地に近づけないことが大切ですので、以下の点に注意してください。

- 1 自宅周辺や畑に、生ゴミやカキの実などの取り残しを放置しないようにしましょう。
- 2 周囲の草むらを刈り払い見通しを良くして、クマが隠れる場所をなくしましょう。
- 3 早朝・夕方の農作業や山野などクマがいると思われる場所に行く時は、鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。
- 4 もし、クマが出没したときは、果樹を早めに収穫する、果樹の幹にトタン板を巻く、周囲に電気柵を張るなどの対策をとりましょう。



■問い合わせ先 林業振興部森林管理班 TEL：0228-22-2391

栗原市内の農林産物の放射性セシウム濃度を検査しています（5月3日～6月28日）

農業振興部・林業振興部

5月3日から6月28日までの間に農林産物 96 点を検査し、92 点が基準値の2分の1（50 ベクレル/kg）以下でしたが、たけのこ（露地）2点とネマガリタケ、ホテイチクの4点は、基準値の2分の1を超えていたため精密検査をしたところ、90、84、68、14 ベクレル/kg と基準値（100 ベクレル/kg）以下でした。

しかし、6月28日に精密検査をしたカラダケ2点から基準値を超える放射性セシウムが検出されたため、同日から栗原市産の全てのたけのこ（ネマガリタケを除く）が出荷自粛となっています。

☆簡易検査の測定値が基準値の2分の1以下であったもの

◎：2分の1以下

—：検査未実施

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
アスパラガス	◎	◎	うど	—	◎	◎
いちご	◎	—	うるい	—	◎	—
うめ	—	◎	オヤマボクチ(ゴボウ葉)	—	—	◎
カリフラワー	—	◎	みず(2点)	—	—	◎
キャベツ(5点)	—	◎	さく	—	—	◎
きゅうり(14点)	◎	—	サンショウの実	—	—	◎
こまつな	—	◎	菌床しいたけ	◎	—	—
サンチュ	◎	—	さくら(花)	—	—	◎
じゃがいも	◎	◎	ぜんまい(2点)	—	—	◎
ズッキーニ(2点)	◎	—	たけのこ(モウソウチク)(3点)	—	◎	—
そらまめ(9点)	—	◎	たけのこ(ホテイチク)(2点)	—	◎	—
だいこん(3点)	—	◎	ネマガリタケ(チシマザサ)	—	—	◎
たまねぎ(4点)	—	◎	たらめ	—	—	◎
トマト	◎	—	まだけ	—	◎	—
にら(2点)	—	◎	はちく	—	◎	—
にんにく	—	◎	なめこ	◎	—	—
白菜(2点)	—	◎	ひらたけ	—	◎	—
ねぎ	—	◎	ふき(2点)	—	◎	—
葉たまねぎ	—	◎	マス茸	—	—	◎
パプリカ	◎	—				
ピーマン	◎	—				
べんり菜	—	◎				
ほうれんそう(2点)	—	◎				
みずな	◎	—				
ミニきゅうり	◎	—				
らっきょう	—	◎				
レタス	◎	—				

■問い合わせ先

農業振興部 TEL：0228-22-9437

林業振興部林業振興班 TEL：0228-22-2381

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 TEL：0228-22-2195（直通） FAX：0228-22-6284

e-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/>